

令和 5 年第 1 回 計画評価部会の開催概要

| | |
|--------|---|
| 開催日時 | 令和 5 年 8 月 21 日 (月) 9 時 30 分から 11 時 |
| 開催場所 | オンライン会議システム「Zoom」を利用 |
| 出席者 | 橋本部長、黒木副部長、鶴山委員、川添委員、鳥居委員 |
| 会議の概要 | <p>1 議題</p> <p>(1) 「かながわ高齢者保健福祉計画 (2021 年度～2023 年度)」介護保険事業の実績について 令和 4 年度の介護保険事業の実績について意見交換。【資料 3 - 2】</p> <p>(2) 次期かながわ高齢者保健福祉計画の構成について 次期かながわ高齢者保健福祉計画の構成について意見交換。</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 介護保険事業 (支援) 計画に記載した「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の報告について</p> <p>議題 (1) 「かながわ高齢者保健福祉計画 (2021 年度～2023 年度)」介護保険事業の実績について</p> <p>○ 要介護等認定者数計の 2 号要介護認定者等の計画比が 106.9% となっており、その要因の推測だが、コロナが 2020 年から始まって、受診控えの影響が想定される。</p> <p>○ 現場で多いと感じるのは、第 2 号被保険者のがんの末期の方が病院に入院してしまうと家族が面会できないので、何とか在宅で介護保険を使って、ご家族のもとで生活したいという方が多かったという感覚はあった。</p> <p>議題 (2) 「次期かながわ高齢者保健福祉計画の構成について</p> <p>○ 国の統計によると、2040 年には 1,000 万人以上の労働人口の不足が起こってくる。介護分野でも影響が大きい。産業形態別に人材の取り合いになると、サービス業の中でも労働生産性の高い分野に人が流れる。介護は公定価格でやっており生産性を上げるのも難しいところがある。人材不足をどうするか、長期的に考えておかなければいけない。</p> <p>○ データ利用の観点で、いろいろな施設データや、公開されているデータも増えており、厚生労働省の方で介護事業所データの開示も今後進む。これらの動向を踏まえて計画に盛り込んでいただきたい。</p> <p>○ 多くの事業が地域づくりと連携している。地域は高齢者だけが暮らしているわけではないので、すべての人に働きかけていくことが、地域づくりにつながる。地域への働きかけの視点と、地域との連携ということも必要。</p> |
| 【意見要旨】 | |

令和5年第2回 計画評価部会の開催概要

| | |
|--------|---|
| 開催日時 | 令和5年11月6日（月）9:15～10:30 |
| 開催場所 | かながわ県民センター12階 第1会議室 |
| 出席者 | 橋本部長、黒木副部長、川添委員、鳥居委員 |
| 会議の概要 | <p>1 議題</p> <p>(1) 次期かながわ高齢者保健福祉計画について 次期かながわ高齢者保健福祉計画素案（案）について意見交換。</p> |
| 【意見要旨】 | <p>議題 (1) かながわ高齢者保健福祉計画（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「介護現場の革新」のパートについて、科学的介護の推進やデータ分析、エビデンスに基づく介護サービスの提供などが今後、さらに重要になってくるので記載内容を充実していただきたい。現場でケアをする人が効率的に介護に専念できることが重要になる。 ○ 国全体で、医療、介護だけではなく、すべての産業で労働力不足、人材の不足が懸念されている。国全体、県全体の労働の観点も念頭におく必要がある。 ○ 医療的ケアに対応できるような高齢者施設をつくるとしても、介護従事者も医療従事者も不足している。 ○ 県西部の特徴としては県東部と比べて人材も少なく、特別養護老人ホームなどではかなり外国人材が増えている。 ○ 認知症に関する課題は増大してきており、県民が我が事として、身近な人達が認知症になったり関わったりする機会も増えている。認知症に関する理解促進を打ち出して記載されており、引き続き進めてもらいたい。 ○ 外国人材の受け入れを進めているが、外国人から見た日本に対する魅力が低下して、日本に来たいという熱量が低下していることを感じる。これからも外国人材に来ていただくために、外国人コミュニティを形成しやすくすることや、居住環境を整備することなど、より手厚い支援が必要になってくる。施策を検討いただきたい。外国から働きに来てくれる人達への、生活基盤の整備や、やさしい日本語の周知なども効果的。 |